

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛成会	代表者	理事長 佐々木 哲	法人・事業所の 特徴	法人の「愛・行動・感謝」という基本理念に基づき、事業所で「私たちは、利用者様ひとりひとりが、役割と生きがいを持って、自分らしく暮らすことを支援します」という理念を掲げ、ご利用者様が安心と信頼を得られる福祉サービスの実践に努めています
事業所名	小規模多機能デイサービスセンター りんごの郷	管理者	齋藤 大輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者・家族へアンケートを実施し、その結果を業務に反映させる (年1回 9月)。	11月にアンケートを実施し、結果ご意見等を真摯に受け止め、業務の改善につなげていく。	それぞれに意識しながら、共同して取り組んでいたと思う。	利用者・家族へアンケートを実施し、その結果を業務に反映させることを継続する (年1回 11月に実施)。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者・家族へアンケートを実施し、その結果を業務に反映させる (年1回 9月)。	11月にアンケートを実施し、結果ご意見等を真摯に受け止め、業務の改善につなげていく。	玄関前のカーポートに事業所の車両が駐車していると他の車両が横付けできずに不便であるため、片方に寄せるなどしてはどうか。	利用者・家族へアンケートを実施し、その結果を業務に反映させることを継続する (年1回 11月に実施)。
C. 事業所と地域のかかわり	定期的に町内会へチラシを配布し、事業所での取組みを報告すると共に相談窓口として気軽に利用してもらえよう努める。	町内会の回覧板を活用してのチラシの配布及び、周辺地域への毎戸配布、地区民生委員定例会へ出席し、事業所のPRを行った。	出勤の前に徒歩にて事業所の前を通るが、事業所の車とすれ違った際に会釈をしても返してくれない職員がいる。挨拶は簡単だし意識して取り組みばよいと思う。	定期的に町内会及び地域へチラシを配布し、気軽に相談できる拠点を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	運営推進会議以外にも地域の要請に応え、地域の会合やイベントに積極的に参加することで、事業所に対する理解が得られるよう努める。	運営推進会議で地域の心配な高齢者3名の情報得て訪問を実施した。現時点での関わりを必要とはしていなかったが、何か困りごとがあれば相談して欲しい旨伝えた。	地域のイベント「中野もみじ山や浅瀬石小学校の発表会、ソフトボール大会見学など」へ出掛けたり、外へ出る機会が確保されている。	運営推進会議のメンバーから情報を得て、登録利用者以外にも地域の心配な方と関わりを持つよう努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の他に、地域の要請に応えると共に地域の会合やイベントに積極的に参加することで事業所に対する理解が得られるよう努めていく。	運営推進会議のメンバー(民生委員)からの情報で、認知症のある3年間入浴できずにいたご近所の方を訪問から関わり、週3回入浴の機会を確保するまで至った。	事業所の取組み等については、会議の資料として配布し説明を行っている。	運営推進会議のメンバーから情報を得て、地域の会合やイベントに積極的に参加することで事業所に対する理解が得られるよう努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所で実施する「AED講習」に地域の方も参加してもらえよう案内を行っていく。また、地域の消防訓練にも参加する。	地域の回覧板にAEDの設置や必要時に使用してもらえよう周知している。AED講習の参加も呼びかけたが、地域の方の参加はなかった。	消防訓練には防災協力委員の2名(内1名は運営推進会議のメンバー)に参加していただいている。	地域へ向けてAEDの設置及び必要時に使用してもらえよう周知すると共に、AED講習に参加していただけるよう案内を行っていく。また、地域の消防訓練に参加する。